

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 2 区分

【発行日】平成22年10月7日(2010.10.7)

【公表番号】特表2010-507763(P2010-507763A)

【公表日】平成22年3月11日(2010.3.11)

【年通号数】公開・登録公報2010-010

【出願番号】特願2009-533777(P2009-533777)

【国際特許分類】

F 1 6 H 1/28 (2006.01)

【F I】

F 1 6 H 1/28

【手続補正書】

【提出日】平成22年8月18日(2010.8.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】プラネタリギヤユニット

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、請求項 1 の前提部分に基づくプラネタリギヤユニットに関するものである。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 3 1

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 3 1 】

さらに、図 1 には本発明によるプラネタリギヤユニットを製造する（特にプラネタリギヤユニットを正確に位置決めして組み立てる）ためのプラネタリギヤユニット加工装置 13 も示されており、このプラネタリギヤユニット加工装置 13 は、下半部 13 a 及び上半部 13 b を備えている。これら下半部 13 a 及び上半部 13 b は、それぞれスリーブ状の押込み工具 14, 15 と、この押込み工具 14, 15 内で軸方向に案内されつつ移動可能なパンチ 16, 17 とで構成されている。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 4 3

【補正方法】 削除

【補正の内容】